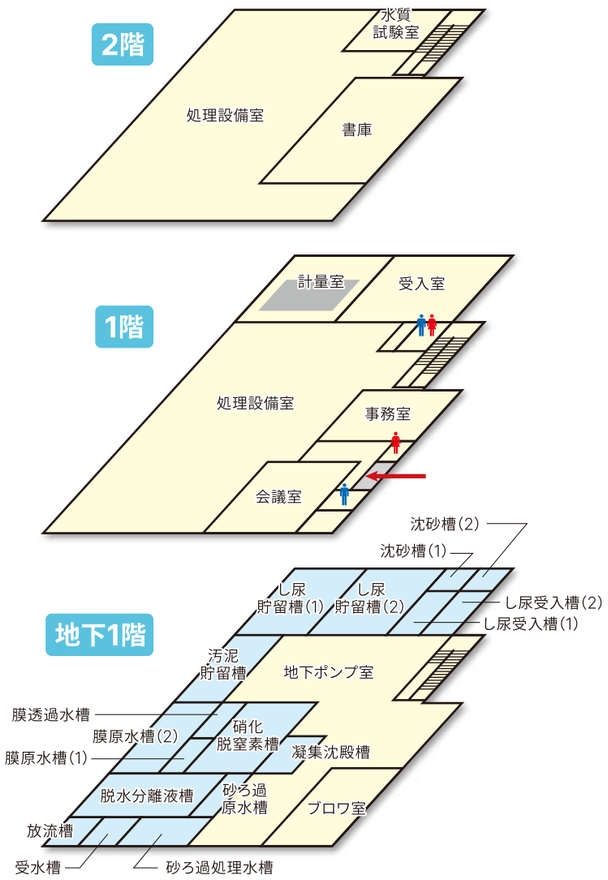
施設案内図



処理棟配置図



みよし広域連合
みよし広域連合浄化センター

〒779-4806 徳島県三好市井川町西井川906番地
Tel. 0883-78-2167

事業主体

みよし広域連合

〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2429番地1
Tel. 0883-72-5121

設計・施工監理

八千代エンジニヤリング株式会社

〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー
Tel. 03-5822-2900

設計・施工

Kanadevia
Technology for people and planet

カナデビア株式会社

〒559-8559 大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
Tel. 06-6569-0001



みよし広域連合

みよし広域連合浄化センター



循環型社会の構築を目指して私たちが今できること…

本事業の実施により、三好市・東みよし町のし尿・浄化槽汚泥の
適正かつ効率的な処理を行い、構成市町の衛生的な生活環境の維持を目指します。

きれいな処理水を吉野川へ放流

1日60kLのし尿と浄化槽汚泥等を膜分離高負荷脱窒素処理方式＋高度処理方式で処理し、さらに紫外線消毒による滅菌処理をおこなっています。

環境に配慮した設備

生物脱臭方式と活性炭吸着方式を組み合わせた脱臭システムの採用により、臭気対策も万全です。

脱炭素社会への貢献

処理工程で発生する汚泥は、汚泥脱水機により含水率70%以下に脱水し、助燃剤として生まれ変わります。
助燃剤と可燃ごみをごみ焼却施設で混焼することで、補助燃料を削減できます。

中央集中監視による運転管理

効率的で確実な施設管理を行うため、各機器は自動制御されており、運転データを自動で収集・記録します。
また、24時間連続で処理水質を監視し、環境保全に貢献しています。

施設概要

- □事業主体　みよし広域連合
- □施設名称　みよし広域連合浄化センター
- □処理区域　三好市・東みよし町
- □所在地　徳島県三好市井川町西井川906番地
- □処理対象物　し尿・浄化槽汚泥等
- □敷地面積　6,599.68㎡
- □建築面積　807.88㎡
- □構造　鉄骨ALC造
  （処理棟：地下1階、地上2階/前処理・脱水機棟：地上3階）
- □処理方式　[水処理]膜分離高負荷脱窒素処理方式＋高度処理方式
  [資源化]助燃剤化方式
- □処理能力　60kL/日（し尿：13kL/日、浄化槽汚泥等：47kL/日）
- □放流先　吉野川
- □工期　令和4年（2022年）4月～令和7年（2025年）8月

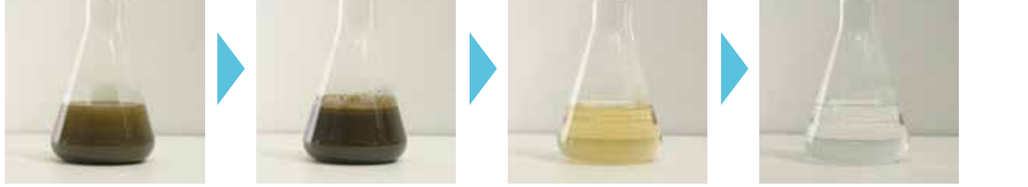
放流水質

水素イオン濃度指数(pH)	5.8～8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	8mg/L以下※
化学的酸素要求量(COD)	20mg/L以下※
浮遊物質量(SS)	10mg/L以下※
全窒素含有量(T-N)	20mg/L以下※
全リン含有量(T-P)	1mg/L以下※
色度	30度以下※
大腸菌数	800CFU/ml以下※

※日間平均

処理比較

受入・貯留設備　主処理設備　主処理設備　消毒・放流設備



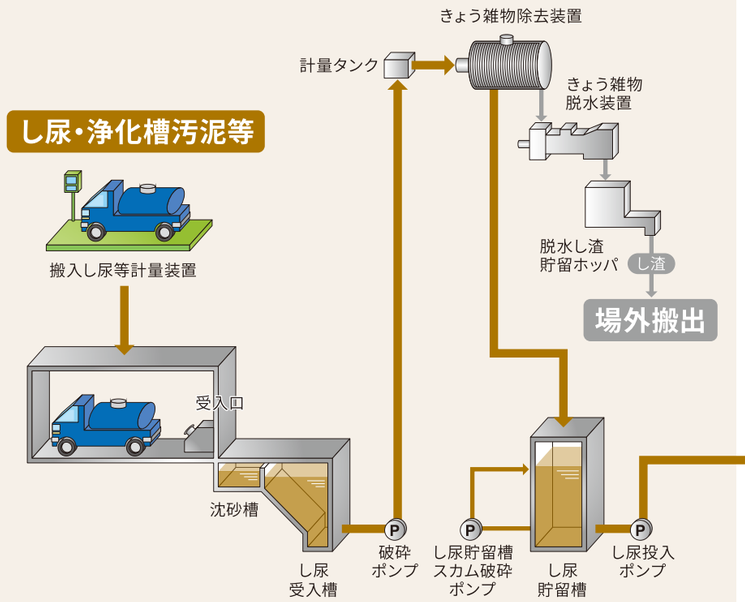
し尿・浄化槽汚泥　生物処理水　膜透過液　放流水

施設配置図

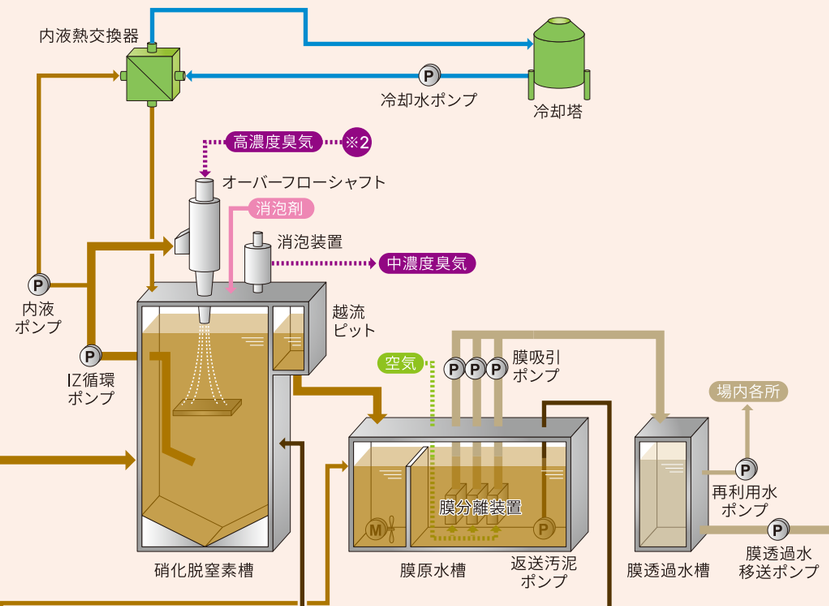


し尿・浄化槽汚泥の流れ

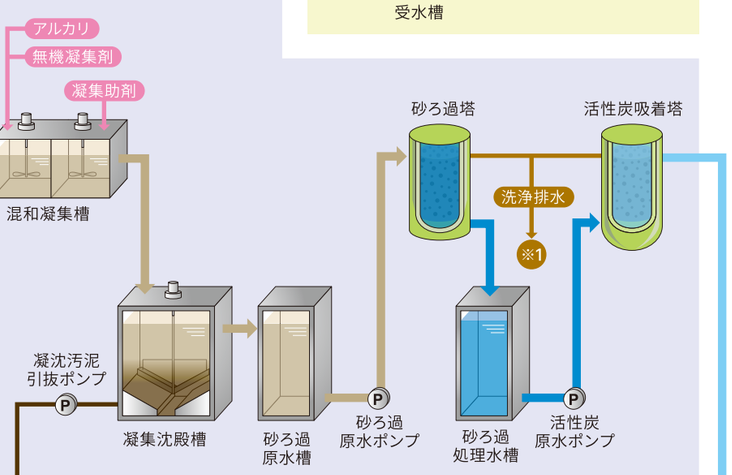
受入・貯留設備



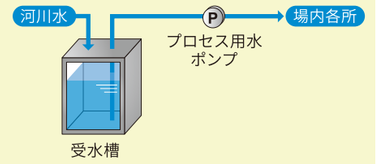
主処理設備(膜分離高負荷脱窒素処理設備)



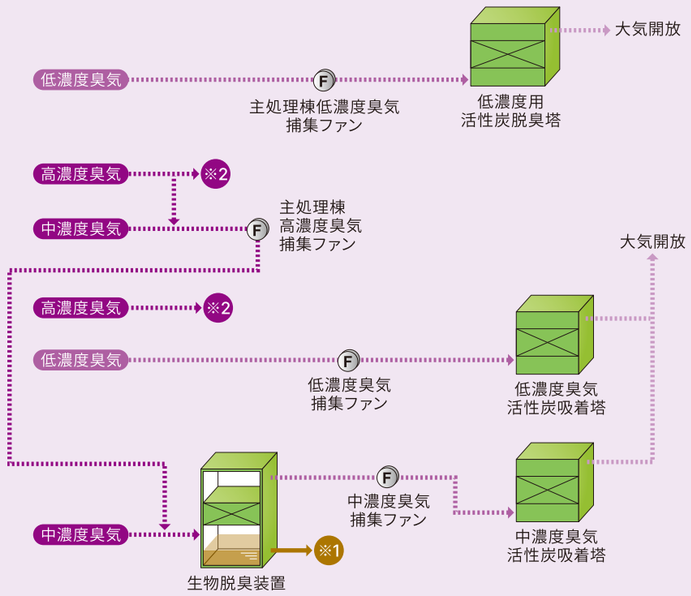
高度処理設備



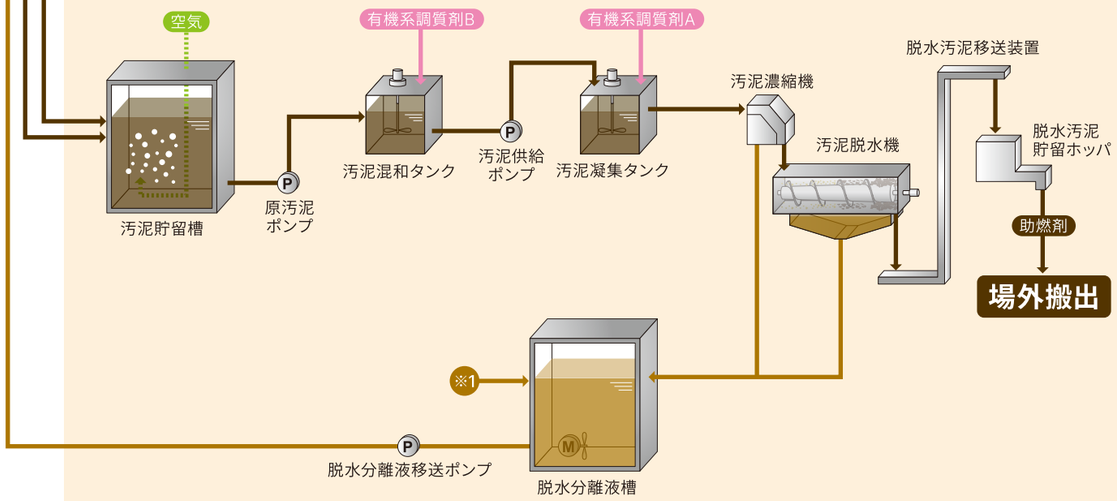
取排水設備



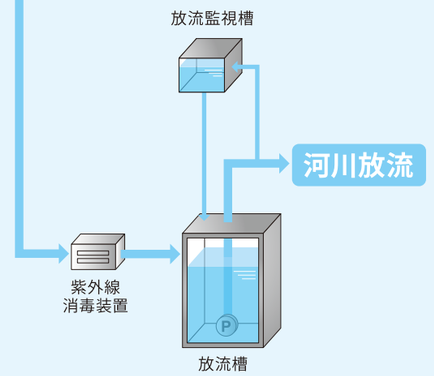
脱臭設備



資源化処理設備



消毒・放流設備



主要設備

受入・貯留設備

し尿・浄化槽汚泥は搬入し尿等計量装置で計量した後、受入室内の受入口から投入します。沈砂槽で砂・小石等を除去した後、さらにきょう雑物除去装置によりし渣を除去し、貯留槽に貯留します。し渣は、きょう雑物脱水装置で脱水した後、場外搬出されます。


搬入し尿等計量装置


受入室


きょう雑物除去装置


きょう雑物脱水装置

主処理設備（膜分離高負荷脱窒素処理設備）

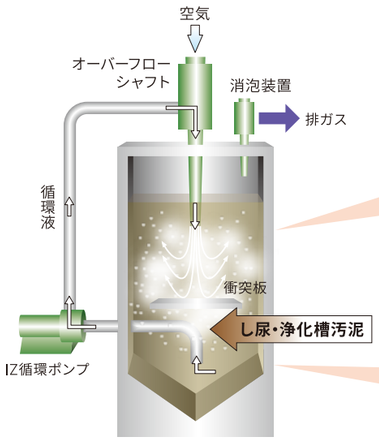
硝化脱窒素槽の中にはアンモニアや有機物（BOD・COD）を分解する微生物、硝化菌と脱窒菌が存在しています。IZ循環ポンプによって、し尿・浄化槽汚泥はオーバーフローシャフトに送られ、空気とともに勢いよく槽内に噴射されます。この際、大量の空気を得た硝化菌、脱窒菌は活発に活動をはじめ、し尿中のアンモニアや有機物を分解します。こうして微生物により処理されたし尿や浄化槽汚泥は、膜原水槽に設置された膜分離装置に通し、固形物を全く含まない処理水にします。


IZ循環ポンプ

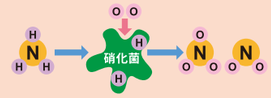


オーバーフローシャフト

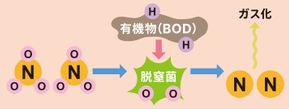
IZエアレーションシステム



硝化ゾーン
槽上部では、強い酸素供給により硝化菌によるアンモニアの酸化（硝化）が促進されます。

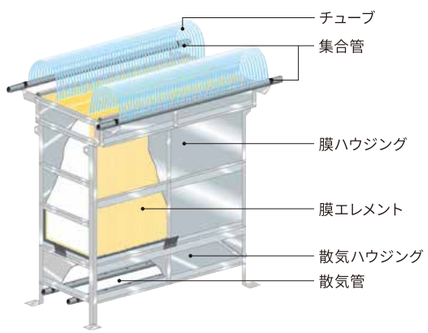


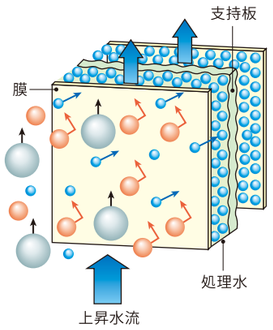
脱窒ゾーン
酸素が消費された下部では、脱窒菌により硝酸の還元（脱窒）が行われます。



膜分離装置による固液分離

膜面の微孔を通過できるのは、水などのきわめて小さな粒子で、サイズが大きい汚れの粒子（SSなど）は通さないため、安定した処理が行えます。





水質試験室

処理工程別に水質の分析を行い、安定した処理が行われているかチェックをします。


水質試験室

高度処理設備

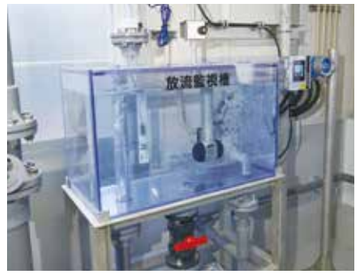
凝集処理された分離液は、砂ろ過塔や活性炭吸着塔で残存する汚れ（COD）・色度が取り除かれ無色透明な処理水となります。


砂ろ過塔


活性炭吸着塔

消毒・放流設備

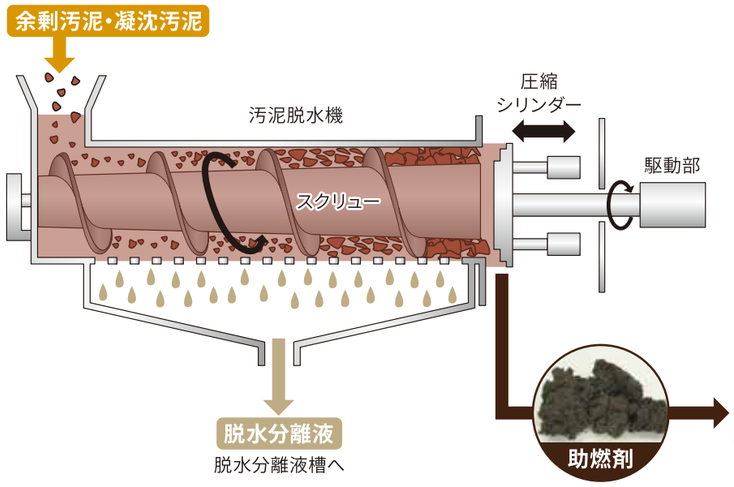
最後に処理水を紫外線で消毒し、放流します。



放流監視槽

資源化処理設備

余剰汚泥・凝沈汚泥は汚泥脱水機へ送られ脱水汚泥と分離液に分離されます。分離液は膜分離、凝集沈殿処理によりCOD、SS、リンなどが除去されます。脱水汚泥は、ごみ処理施設の助燃剤として有効活用されます。




汚泥脱水機

脱臭設備

施設各所から集められた臭気は、濃度に応じた処理を行い、大気へ放出します。


生物脱臭装置


低濃度用活性炭脱臭塔

中央監視室

監視画面には各機器の状態が表示され、各設備の運転状況などが確認できます。


中央監視室